

機構学 (Machine Mechanism)		2 年・後期・1 単位・必修 機械工学科・担当 廣 和樹
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕</p> <p>機構学は、機械を構成している部品の相対運動を学習する。本講義では、一般的によく使用される機械の部品について、それがどのような役割をしてどのように動くのかイメージできることを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>教科書に従って、総論から講義を行なう。イメージを掴むために、適宜、模型を見せたり、プリントやコンピュータを用いた動画により補足説明する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>学習効果を上げるには、基礎的な概念を明確に把握し、公式も単なる丸暗記ではなく最低 1 度は時間をかけて理解することが大切である。また、例題や、演習問題に自分で取り組むことによって理解できることも多いので、これらに対して自ら積極的に取り組む姿勢も望まれる。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>後期中間試験： 機構と運動、対偶と運動、リンク機構          学年末試験： 摩擦伝動装置、カム機構、歯車装置</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験(70%)を基本とし、これにレポート(15%)、小テスト(15%)を加え、総合的に評価する。授業中の積極的な質問に対しては、評価にプラスする。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>「機構学の「しくみ」と「基本」」小峯龍男、技術評論社</p>		
<p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>「動画で学ぶ機構学入門〈上下 2 巻〉」木村南、日刊工業出版          「絵ときでわかる機構学」住野 和男、林 俊一、オーム社          「機構学」森田釣、サイエンス社</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>講義・演習にあたっては、数学や専門科目の学習と関連づけて進めていく。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第 1 週	概要説明	機構学について概要説明する。	
第 2 週	機構と運動 1	機構について説明する。	
第 3 週	機構と運動 2	機構について説明する。	
第 4 週	対偶と運動 1	対偶と運動について説明する。	
第 5 週	対偶と運動 2	対偶と運動について説明する。	
第 6 週	リンク機構 1	リンク機構について説明する。	
第 7 週	リンク機構 2	リンク機構について説明する。	
第 8 週	摩擦伝動装置	摩擦伝動装置について説明する。	
第 9 週	演習	前半の演習を行う。	
第 10 週	カム機構 1	カム機構について説明する。	
第 11 週	カム機構 2	カム機構について説明する。	
第 12 週	歯車装置 1	歯車について説明する。	
第 13 週	歯車装置 2	歯車について説明する。	
第 14 週	無段変速装置	無段変速装置について説明を行う。	
第 15 週	演習	後半の演習を行う。	
期末試験			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)